

行政報告の主な内容（ 8 課 2 2 項目）

(1) 総務課	町表彰式及び栄典受章関係について
	事務事業評価の実施状況について
	総合計画策定進捗状況について
	広域行政について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	福祉灯油事業について
	子どもセンター改修事業について
	特定健診・特定保健指導について
(3) 町民生活課	自治基本条例制定の取り組みについて
	ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰﾀﾞｲｵｷｼﾝ類測定結果について
	交通安全対策について
(4) 産業振興課	日の出公園駐車場について
	農作物の育成状況について
	上海招聘事業について
(5) 建設水道課	(煙突におけるアスベスト含有の調査)
	国・道の道路・河川整備事業について
(6) ラベンダーハイツ	ラベンダーハイツ利用状況について
(7) 町立病院	微量採血器具の不適切な使用について
	介護療養型老人保健施設への転換について
(8) 教育振興課	総合文化祭について
	全道・全国大会出場について
(9) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成20年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

はじめに、日の出公園に隣接する臨時駐車場の件についてであります。町民の皆様をはじめ、関係者の方々に大変な心配とご迷惑をかけ、またご不便をおかけしましたことに対し、心からお詫び申し上げます。

この駐車場については、地権者、借受者である観光協会、更には所管行政機関である農業委員会において、誰一人として気づくことなく、永年にわたり農地法に違反した状態を継続していたことに加え、農業委員会においてその解決に向けた事務手続きにおいても、不手際があった次第であります。

結果として、当該地については、9月30日に農地に復元がなされ、また本年度、観光協会に助成を予定していた、当該地の借地料相当分にあたる補助金についても、状況の変化や町民の皆様の心情等を考慮し、助成しないこととしたところであります。

本件の教訓として、それぞれの組織・機関における事前のチェック機能や報告・連絡義務に対する認識が欠如していたことなどから、適正な事務処理が行われてなかったことを、組織的に強く戒め、再発防止と信頼回復に組織を挙げて全力で取り組んでまいります。

（総務課行政報告【総務班関係】）

次に、平成20年度の町表彰式についてであります。菅野學名誉町民をはじめ多くの皆様のご列席をいただき、11月3日に挙行いたしました。町の関係では社会貢献賞5名、善行表彰3名1団体、勤続表彰18名、国保優良家庭2名の表彰をさせていただきました。

教育委員会関係では、スポーツ賞1名、文化奨励賞2名2団体、スポーツ奨励賞7名4団体、スポーツ功労賞2名の表彰をしたところであります。

また、国の栄典関係では、11月3日発令の危険業務従事者叙勲において、瑞宝双光章ずいほうそうこうに防衛功労として天野強あまの つよし氏が、瑞宝单光章ずいほうたんこうしょうに防衛功労として竹内栄一たけうちえいいち氏、萩原邦雄はぎわらくに お氏、山崎裕志やまざきひろし氏、若林幹夫わかばやしみきお氏、渡辺孝一わたなべこういち氏が受章されました。また、秋の褒章ほうしょうでは調停委員功績として松浦正子まつうらまさこ氏が藍綬褒章らんじゅほうしょうを受章されました。

受章者皆様のご功績に敬意を表すとともに、ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

次に、全国町村長大会及びふるさと会等についてであります。11月26日から、全国治水砂防促進大会、全国町村長大会にそれぞれ出席してまいりました。

特に、全国町村長大会においては、地方交付税の持つ財源調整・財源保障機能の堅持、少子・高齢化の進行に対応した医療・保健・福祉施策の推進などについて決議するとともに、地域自治体の実態を顧みない道州制反対に対する特別決議がされたところであります。

また、上京中に、東京ふらの会総会が開催されましたことから、沿線市町村長とともに出席をしてまいりました。ふるさと会関係では、札幌上富良野会総会が10月31日に開催され、当町にゆかりのある方々とお会いすることができ、有意義な時間を過ごさせていただいたところであります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

次に、事務事業評価の事前評価についてであります。各課で1次評価を行った47の事務事業について、政策調整会議における2次評価を行ったところであります。評価結果については、町のホームページを通じて町民の皆様に公表するとともに、今後、新年度の予算編成とあわせて、総合計画実施計画に反映するよう取り進めてまいります。

（総務課行政報告【総合計画関係】）

次に、一昨年より策定作業を進めてまいりました、第5次総合計画についてであります。本年の第2回定例会において、基本構想の議決をいただき、それ以降、この構想に基づきながら、基本計画の策定作業を進めてまいりました。

この間、パブリックコメントの実施など、町民意見の反映に努めるとともに、諮問機関であります、総合計画審議会での審議を経て、この度、基本計画を策定させていただきました。

今後は、この基本構想及び基本計画を「第5次総合計画書」としてまとめ、その概要につきましては、ダイジェスト版を作成し、町民の皆様に配布することとしており、平成21年度を開始年度とする、今後10年間のまちづくりに理解いただけるよう取り進めてまいります。

（総務課行政報告【広域行政関係】）

次に、広域行政であります。9月1日に設立した富良野広域連合につきましては、構成市町村の議会第3回定例会において広域連合議会議員が3人ずつ選出していただ

き、10月22日に第1回広域連合議会臨時会が招集され、広域連合議会議長には西村昭教上富良野町議会議長が選出、就任されたところであります。

臨時会では、関係条例、予算、人事案件、専決処分などの議案を審議いただき、それぞれ議決いただいたところであります。この臨時会の内容につきましては、各市町村の広報誌に掲載することとし、本町においては広報かみふらの12月号に掲載したところであります。

また、広域連合の事業開始に伴い解散することとなる一部事務組合の事務と財産の移行に関連して、今定例会において、事務及び財産を広域連合へ承継する内容の富良野広域連合規約の変更議案を上程しておりますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、この規約の変更に伴い、当初今定例会へ上程する予定でありました一部事務組合の解散議案及び一部事務組合の財産処分議案につきましては、5市町村の議会での議決を受けた後、規約変更を北海道知事へ申請し、変更許可を受けてから、5市町村の平成21年第1回定例会へそれぞれ上程するよう、変更しておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。9月23日、北海道補給処創立56周年記念式典に9月28日には地元の多田弾薬支処創立52周年記念式典とともに同日、東北方面隊創隊48周年記念行事に出席してまいりました。

また10月11日、北海道殉職隊員追悼式、10月18日には、北部方面隊創隊56周年祝賀会及び北部方面隊音楽まつり、11月1日、第2後方支援連隊改編初年度記念行事に出席してまいりました。

要望関係では、10月に富良野地方自衛隊協力会構成の各市町村長の役員によって、上富良野駐屯地の現状規模堅持及び演習場拡張整備に関する要望を地元の上富良野駐屯地をはじめ、第2師団、北部方面総監、北海道防衛局に対して、それぞれ行い29日には上京し、防衛省内局及び陸上幕僚監部へ要望してまいりました。

関連して、10月30日には「北海道の陸上自衛隊の体制維持を求める札幌大会」が開催され、富良野地方から当町をはじめ自衛隊関係者など約100名が参加してまいりました。

また、11月20日には東京都において「北海道の陸上自衛隊の体制維持を求める中央決起大会」が開催され、当町から自衛隊関係者など7名が参加してまいりました。

同じく11月20日、北海道基地協議会として構成の各市町村長とともに平成21年度の事業要望等を防衛省、総務省、財務省に行ってまいりました。

（保健福祉課行政報告）

次に、福祉灯油事業の実施状況であります。12月12日現在、147名の方が手続きを終え、総額175万4千円相当の商品券を交付したところであります。今後、さらに防災無線で周知を図るとともに、民生委員の方々の協力を得ながら、対象となる方々に手続きをしていただくよう努めてまいります。

次に、子どもセンターについてであります。子どもと高齢者等の共生型事業の拠点として、国の地域介護・福祉空間整備等交付金の採択を受けての改修工事が開始された後の9月下旬に、同センターの集合煙突内部の断熱材が崩落し、その断熱材にアスベストが含まれている製品を使用していることが判明したことから、アスベスト除去を含めた煙突改修工事を、現在、併せて施工中であります。

利用者の皆様にはご不便をおかけしておりますが、来年3月には新しい環境のもと

でご利用いただくことができるよう進めておりますので、ご理解願います。

また、あわせて町有施設および福祉施設等の煙突に同様の状況がないかの全体調査を行ったところであります。

調査は、煙突のある町有施設 58 棟と民営福祉施設 4 棟の合計 62 棟に対して行い、設計図書などによりアスベスト含有の可能性がある町有 33 棟、民営 4 棟の 37 棟について、煙突の灰出し口、点検口、上部噴出口などを可能な限り直接、目視により確認し、あわせてボイラーの燃焼異常の有無などの状況を加えて、総合的に判断を行ったところであります。

結果は、東中中学校校舎煙突の上部に経年劣化による繊維の崩れと毛羽立ちが見られ、剥離して崩落する危険性が高いため、早急に対策を図ることといたしました。

なお、残る 36 棟については、経年劣化が見られるものがありますが、飛散や崩落の可能性はなく、安定状況にあるため、継続観察のもとで安全管理を図ってまいります。

次に特定健診・特定保健指導についてですが、特定健診の実施状況は 11 月末日現在、国民健康保険特定健診等実施計画において今年目標としている、健診受診率 68% に到達したところであります。

また、特定保健指導について、目標である 60% を超える指導を終えたところであります。今後さらに、健診結果に基づく特定保健指導の一層の充実に努めてまいります。

(町民生活課行政報告【自治推進班関係】)

次に、自治基本条例の制定関係であります。この条例は、地方自治の主役である町民の権利と責務、町民の信託を受けた町長とそれを補佐する町職員の役割と責務、

そして町民の代表である議会の役割と責務を定め、それぞれが共有すべきまちづくりの理念及び原則、基本的なルールなどを定めたもので、上富良野町の最高規範となる条例であります。

従いまして、この条例の制定においては、町民、議会、町が一体となった取り組みが重要となりますことから、これまで、町広報誌への特集記事の掲載や出前講座、関係機関への説明会、まちづくりトークの開催、パブリックコメントの実施をしたほか、11月5日から11月14日まで町内6会場で地域説明会を開催するなど、延べ約500名の町民の皆様への周知と意見交換を進めてまいりました。

また、自治基本条例の最終案の取りまとめに際しましては、議会運営委員会におきまして議会条項の条文を作成され、さらに、総務産建常任委員会では条例全般の審議を頂き、意見交換しながら条文各条項と解説の修正を加えたところであります。

このような議会・議員の取組みに対しまして敬意を表し、感謝申し上げる次第であります。

自治基本条例は、平成16年から検討を始め4年半の取組みの経過を経て、今定例町議会に上程しておりますので、ご審議賜りますようよろしくお願いいたします。

（町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、クリンセンタ - のダイオキシン類の測定結果についてであります。クリンセンタ - 焼却施設において年2回実施しております。ダイオキシン類の測定について、本年10月に2回目の測定を行った結果、A系が0.00085ナノグラム・B系は0.0012ナノグラムでありましたのでご報告をいたします。

今回の結果におきましても、A系・B系共に微量の測定結果となりました。結果の数値につきましては、町独自の基準値である5ナノグラムを大きく下回るものであり、

施設の運営上問題となる状況とはなりません、今後とも管理運営には万全を期してまいります。

次に、交通安全対策についてであります、これまで町民一丸となり交通安全の取り組みを進めてまいりました結果、11月19日をもちまして本町の交通死亡事故ゼロ1千5百日の偉業を達成したところですが、残念ながら12月6日に死亡事故が発生し、その日数も1千517日で途切れることとなったところであります。

不幸にも交通事故により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、改めて今後におきましても町民総ぐるみで交通安全対策に取り組んでまいります。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、今年の農作物の作柄状況であります、気象経過では、本年は融雪期が早く、春耕起も好天に恵まれましたが、5月上旬には降霜による農作物被害を伴う低温期がありました。その後も、周期的な気温変化はありましたが、8月中旬までは概ね平年並みに推移しました。また、9月下旬までは、低温期、高温期と気温変化はありましたが、台風が上陸することもなく、各作物の生育及び農作業は、ほぼ順調に経過しました。

水稻の作況指数は、農水省の発表によると全国では102で「やや良」、北海道は106で「良」、上川管内も107で「良」となりました。本町の状況を見ますと、品質は全量1等で、収量も平年より10%程度増となったところです。

畑作においては、秋まき小麦、春まき小麦共に全量1等で、平年よりも収量増となりました。また、豆類や馬鈴薯、てん菜なども順調に生育し、収量面でも総体的には平年を上回る状況となりました。

（産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、観光関係であります。昨年より進めている中国上海旅行客誘致事業であります。11月20日から23日の間に開催された中国^{りょうゆうこうえきかい}旅游交易会CITM2008に出展し、本町の職員を派遣するなど富良野・美瑛広域観光のPRを行なっていました。

トリックアート美術館 画家^{チン セイユ} 陳西瑜氏、観光大使である^{オウ ショウ} 王思椒氏のお世話をいただき、上海市民や旅行エージェントに対するPRを行なってきたところであります。現在、上海市民における旅行ニーズは日本が最も高く、その中でも北海道の占める割合も高くなってきている状況にあります。

家庭ビザが解禁されてもなお、制限のある中国本土の旅行事情であります。国の観光庁設立、観光立国推進に基づき、今後中国本土を主とする個人旅行が飛躍的に伸びることが想定されるため、引き続き旅行客誘致に向けた取り組みを本町が主導的な役割を担い行なっています。

年明けの1月中旬からは、テレビ局1社、旅行雑誌社1社の招聘事業を行ない、本町及び富良野・美瑛広域の「冬」を上海で発信する予定であります。

（建設水道課行政報告）

次に、国・道によって進められている道路・河川整備事業の概要についてご報告させていただきます。

まず、国道関係ですが、旭川開発建設部により、深山峠報徳地区の桜公園展望台を切土により平坦化し、展望地と駐車場を整備する工事が、来春にかけて行われ、早々

に供用されることになっています。

次に道々・河川関係では、旭川土木現業所により、4路線と2河川において工事が完了あるいは進捗中となっております。

道々留辺蕊上富良野線については、バイパスから土の館間の440メートルについて車道拡幅と歩道設置工事が単年度で完了し、供用されております。

道々美沢上富良野線については、旧清富小学校周辺のクランク状カーブの線形改良が決定、グラウンドの一部が用地として買収され、来春から平成23年度までの予定で橋の架換と路盤工が実施される計画となっております。

道々上富良野旭中富良野線については、北22号から中富良野町界まで平成23年度を終期として、車道拡幅と歩道再設置が進められていますが、本年度中に北20号から東中市街地までの用地買収を完了し、平成21年度において、同区間の工事が実施されることとなっております。

道々吹上上富良野線については、本年度、カミホ口荘付近から終点までの1千820メートルにおいて、法面整備と落石金網設置、カーブ部分の路肩拡幅工事が実施されたところであります。

河川では、富良野川合流点から上流部へ向けて、コルコニウシベツ川の河川改修が行われていますが、本年度は用地補償のみで施工はなく、来年度から23年度まで、北27号以北について、落差工1基、道路橋4基、取水堰1基の整備が計画されております。

また、デボツナイ川の河川改修が下流から上流へ向かって進んでおりますが、本年度は北17号から18号にかけて、護岸と排水工及び東中橋と興農橋の架換が行われ、21年度は北19号から20号区間の用地補償のみが予定されております。

砂防施設整備では、富良野川火山砂防事業の3号ダム嵩上工事が、平成21年度で

完了の予定で実施されており、また、ヌッカクシフラノ川火山砂防では平成 23 年度までの計画で、「バーデンかみふらの」の上手で山腹工が実施されております。

ソフト事業としては、旭川土木現業所による十勝岳警戒避難対策事業として、消防大会議室サーバ室に、年度内に地震・空震計処理システムが整備されることになっております。

(ラベンダーハイツ行政報告)

次に、ラベンダーハイツの利用状況についてであります。11 月現在、特養については、51 床満床で利用率 97.0%、ショートステイについては、利用率 97.8%という状況になっております。また、特養申し込みの待機状況であります。申し込み受付が 33 名、うち早急に入所希望者が 15 名(町内)となっております。

次に、本年 4 月から実施しておりますデイサービスにおける障害者日中一時支援の受け入れ状況であります。4 月から 2 名、10 月から 1 名の合計 3 名が週 1 回利用していただいております。

(町立病院行政報告)

次に、多くの町民の皆様にご不安を与えました血糖検査用微量採血器具の不適切な使用についてであります。

町立病院関係で対象者 128 名のうち、不適切な使用はなかったとして検査を受けられなかった方が 63 名、残り 65 名の方が検査を受けられました。

その結果、異常なしが 59 名で、6 名の方に数値の高いことが判明し、いずれも町立病院に通院されている患者さんであることから、外来の受診時に主治医から直接説

明をさせていただき、9月時点での未確認者7名を含めた全ての対象者に対する対応を平成20年11月6日までに完了したところであります。

次に町立病院の療養病床の介護療養型老人保健施設への転換についてであります。改修工事並びに全ての許認可の手続きを終えて、平成20年12月1日に入所定員28人に対し、28人の入所でスタートしたところであります。

運営にあたりましては、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、サービスの提供に努めてまいります。

(教育振興課行政報告)

次に町総合文化祭についてであります。11月1日から11月3日までの3日間、社会教育総合センターと保健福祉総合センターを会場に開催をいたしました。

今回の文化祭は、期間中約3千2百名の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することが出来ました。

今後も、町内の文化愛好者及び団体の自主的な発表の場として開催してまいりたいと考えております。

上富良野小学校のスクールバンドは9月6日に、上富良野中学校の吹奏楽部は9月7日に札幌市で開催された第53回北海道吹奏楽コンクールで共に出場し、上富良野小学校のスクールバンドは銀賞を受賞し、上富良野中学校の吹奏楽部は昨年に引き続き金賞に輝きB編成の北海道代表として10月11日に埼玉県所沢市で開催された第8回東日本吹奏楽大会に出場し、銀賞を受賞したところであります。

さらに、上富良野中学校野球部では、10月26日に江別市で開催された第10回
アイビーイーボーイズ
I B A - b o y s 全国中学生軟式野球大会北海道選抜選手権大会で優勝し、来年3月

に千葉県浦安市で開催される全国大会への出場権を得たところであります。

昨年に引き続き、多くの町民に感動を与えてくれた児童生徒の皆さんに大きな拍手を送るとともに、それぞれの活動を支えていただいている指導者、保護者の方々のご苦勞に敬意を表する次第であります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に建設工事の発注状況についてですが、9月定例議会の報告以降に入札執行した建設工事は、12月12日現在で、今定例会に上程の2件を含め、件数で13件、事業費総額で2億1千589万5百円となっております。

本年度累計では、46件、事業費総額7億9千809万4千5百円となっております。

また、平成21・22年度の競争入札参加資格申請については、その内容を12月18日付で告示し、2月以降に予定する受付等の事務に万全を期してまいります。

なお、お手元に「平成20年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご覧いただきたく存じます。